



2024年10月21日に開催された

2024年度第5回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●組織の方針決定

- ・2025年の理事、2026年の評議員改選を控えるこのタイミングで組織を見直し、充実した形での運営を目指す。
- ・評議員会は、加盟団体の方に参画いただくのが良いのではないかと過去からの指摘を踏まえて、都道府県協会と全国連盟全ての団体に参加していただく。
- ・加盟団体代表委員総会は、加盟団体の代表が評議員会に参画する事と、2ヶ月に1度行っている加盟団体連携会議があることから将来的に発展的解消をする。
- ・理事会は、これまで以上に経営判断を行って事業を運営していく。会長、専務理事、業務執行理事は直接的に執行に関わり、外部理事はその職務執行を管理監督するとともに委員会事業について役割を担ってもらう。
- ・理事会の構成は、JVAとブロックとの連携強化のため、全国ブロック理事長の正副代表に参画していただくと共に残り7名のブロック理事長と競技・審判規則・指導普及の3委員長は運営委員として陪席していただく。その他外部理事は各専門性の人数に幅をもたせることで様々な方を採用できるようにする。
- ・業務執行理事会は、会長・専務理事・3名の業務執行理事が中期経営計画に沿った形で効率的な業務執行を行う。事務局長は中期経営計画の2つの役割を担っているのと事務局運営の長として議決権はないがこの会議には陪席として参加する。

【決議事項】

提案の通り、組織の方針案について承認された。

【補足事項】

理事から出された意見を踏まえて、加盟団体からの意見の整流化、事務局長・業務執行理事の役割の明確化、業務執行理事会の権限整理、全国連盟の意見集約方法など、今後の検討材料もあるため、継続検討する旨を付帯事項として承認された。

●役員選定規程の改定について

- ・第5条 謝金での支払いを考慮し、文言の追加。
- ・第10条 ガバナンスコードを受け、会長選定委員会の委員長が外部になる様に記載変更。
- ・第15条 理事選定委員会も10条と同様に変更。
- ・第16条 第1号議案を受け、候補者の推薦要項を変更。
- ・第18条 第1号議案を受け、理事は職員を兼ねられない事を追記。



【決議事項】

提案の通り、役員選定規程の改定について承認された。

【補足事項】

- ・以下の第 16 条について記載内容に修正し、承認とする。
 - 第 1 項の推薦できる方の種類
 - (1) 理事
 - (2) 次期会長内定者
 - 第 2 項の本文
 - 原案：専務理事候補者を推薦するものとする。
 - 変更：専務理事候補者を推薦できるものとする。
 - 第 3 項（旧 4 項）の理事選考対象の号に追加
 - (4) SV リーグ代表

●日本代表監督候補者の選任について

- ・監督候補者選考委員会において、最終的に男子日本監督は 2 名が候補者となった。その中から全会一致で理事会に推薦する最終候補者を決定したため、今回理事会に提案したい。

【決議事項】

提案の通り、男子日本代表監督の選任について補足事項も含めて承認された。

【補足事項】

- ・代表監督候補者として今後条件面の交渉と就任時期の確認を行うが、合意を得た段階で理事会の権限を業務執行理事会に委譲することを含めて承認とする。

●JOC ハイパフォーマンスディレクターの選任について

●HP 本部長候補者および今後の重要な使用人の選任手続きについて

- ・JOC のハイパフォーマンスディレクターは JOC の審査条件があるため、南部正司氏が適任であると認め推薦したい。
- ・HP 本部長候補者は絞られたが、所属先との交渉も含めて現在手続きを進めている。

【決議事項】

提案の通り、JOC のハイパフォーマンスディレクターへの推薦者と HP 本部長候補者について補足事項を含め承認された。

【補足事項】

- ・HP 本部長について、現時点では候補として承認いただき、交渉完了後に候補者に合意を得た段階で候補ではなくなることに、重要な使用人とする手続きに関して業務執行理事会に権限移譲する事も含め承認とする。



●会長候補者選定委員会の委員会の設置および委員の選任について

会長候補者選定委員会は委員の候補者について説明した。

■候補者

- ・評議員：神野評議員、下村評議員
- ・理事：石塚理事、坂本理事
- ・監事：関口監事
- ・事務局長：村上事務局長
- ・外部委員：田中ウルヴェ 京氏

【決議事項】

提案のとおり、会長候補者選定委員会の委員会設置と委員の選任について承認された。

●常勤役員報酬額の決定について

- ・報酬委員会にてスキルマップ・JVA が求める役割を照らし合わせて議論を行った。
- ・前回委員会で審議した時と同様に、他協会専務理事の報酬額の公開情報が無く、現会長と業務執行理事の報酬額を参考に、代表権がないことを考慮して算出した。
- ・報酬金額は、現在評議員会で承認されている役員報酬総額の範囲内である。

【決議事項】

提案のとおり、新規常勤役員の報酬額について承認された。

●ガバナンスコードの自己説明について

- ・現時点の B 評価（11 項目）について説明した。
- ・10 月末までに JOC と JSPO に報告するため、承認いただいた内容でホームページに掲載し、公開する。

【決議詳細】

- ・説明のとおり、ガバナンスコードの自己説明について承認された。

なお、ガバナンスコードは JVA ホームページに掲載済みのため、下記 URL よりご参照ください。

[JVA_sports_governance-241021](http://www.jva.or.jp/governance-241021)

●加盟団体規程の改定について（SVL/新 JVL）

- ・昨年「ジャパンバレーボールリーグ」に名称変更したが、その法人が新たに「SV リーグ」に再度変更された。また、新たな法人として「一般社団法人ジャパンバレーボールリーグ」が新設された。



- ・加盟団体の名称変更と新規加盟についての確認。

【決議詳細】

- ・提案のとおり、加盟団体規程の改定内容について承認された。

●評議員選定に関するガイドラインの改定について

- ・評議員の任期を定めるガイドラインを改定。
- ・評議員懇談会で評議員に説明の上、改定の承認を得ている。

【決議詳細】

- ・提案のとおり、ガイドラインの改定について承認された。

<報告事項>

●中期経営計画の進捗報告

7月にキックオフした中期経営計画進捗管理委員会では、4名の委員で各本部長と進捗確認を進めている。各重点施策に対する目標とKPIもらっているが、膨大な内容であるため、今回は抜粋版を資料として示し、進捗が芳しくないものからピックアップしている。

代表強化

「新しく発足したSVリーグと一体となった競技力向上策の推進」といった大きなテーマがあるが、重要なテーマにも関わらず進捗が芳しくない。課題として共有したい。

競技普及

選手、指導者、競技役員それぞれに拡大の目標値があるが、そもそもメンバー登録の土台を作らないと競技人口拡大も図れないため、新メンバー登録制度をどうするかを中心に検討を進めてもらっている。2026年度から制度の運用をスタートするようコミットしてもらった。2027年度から改めて競技人口の拡大を図ることになっている。ここは非常に大きなテーマでJVAの一丁目一番地であり、別途もっと細かく進捗を確認する場があると望ましい。

マーケティング

協賛社を増やす、なるべく多くの協賛金を獲得するという目標だが、残念ながら今期の実績としてはまだ未達となっている。ファンクラブの有料会員増加については、5,000人の目標を大きく上回る2万人以上の会員数となっているが、そもそも目標が低かったのではないかと改めて上方修正のKPIを設定いただく。2028年度で1万5,000人という目標を既に上回っているため、もっとアグレッシブな計画を立てて欲しい。

社会貢献

新しくJVAの柱に加えたが、残念ながらほとんど何もできていないという厳しい評価をしている。

組織運営

特に「事業計画・予算策定に向けた根本的な改革に着手」とあるが、財務含めてまだきちんとした計画が立っていない。中期経営計画を立て、それを事業計画に落とし込み、来期正しくキックオフすること



が目標であり、12月頃までにきちんと固めていただくことが事務局長の大きな責任となっている。

国際渉外

新しく委員会が発足し、鈴木委員長を中心に準備いただいているが、まだスタートしたばかりということで期待している。こちらも事務局長と委員会で話を進めてもらうものと理解している。

●2024年度第2四半期職務執行報告

中期経営計画との連動を目指し、今回の報告分からフォーマットを変更している。事業・中期計画に基づく実施目標を立て、その進捗・成果・課題を四半期ごとに報告していく。ただし、会長自身については業務を横断的に関連しているため、各部の報告を集約した内容となってしまう。そのため従来の会長個人の活動報告とする。また専務理事は就任が第2四半期終了間際であったため、次回からの報告とする。

●2024年度上半期運用報告

基本財産において2億2,900万円を社債で運用している。上半期では287万円の運用益が確保できている。年間では倍程度の利益を確保する見込み。

●組織基盤改革プロジェクトの進捗報告

中期経営計画の進捗のなかでも触れていただいたように、プロジェクトでは法人化を踏まえて、まずは資金、財政の確立に向け、登録制度の見直しを図っている。2026年から開始したいのは、現行登録人数のなかでの登録料の改定。改定を行うことでしっかり活動資金を確保し、翌年からしっかり競技者拡大に向けたプロモーションや事業実施というような形で、段階的に進めていきたい。詳細についてはまた次回の理事会でお出しできるように準備を進めたい。

●その他報告事項

・AVC委員会委員について

アジアバレーボール連盟（AVC）各委員会の委員について、JVAから推薦した以下の候補者の選任が決まった。

- | | |
|---------------|---------|
| ・スポーツイベント評議会 | 遠藤 俊郎 氏 |
| ・メディカル委員会 | 吉澤 穰治 氏 |
| ・レフェリー委員会 | 小柴 滋 氏 |
| ・コーチ委員会 | 南部 正司 氏 |
| ・ビーチバレーボール委員会 | 君島 知喜 氏 |

以上